



はぐくみ 第143号
発行日 令和5年7月20日
発行 兵庫県立阪神特別支援学校



新入生を迎えて



小学部1年

小学部に61期生16名の1年生が入学してきました。

初めての授業に初めての給食。毎日が初めての連続の1年生ですが、それぞれの児童が様々な、初めてに挑戦し、できることが日々増えています。

6月9日(金)の体育大会では、5月から玉入れとかけっこの練習を積み重ね、本番では、どの児童も練習の成果を発揮することができました。

6月20日(火)には、1、2年生全員で「阪神競馬場」に遠足に行きました。公園では、ふわふわドームやローラーすべり台で帰る時間になるまで元気一杯遊ぶことができました。

小学部での生活は始まったばかりです。色々なことに挑戦し、成長していく児童たちを見守っていきたいと思っています。



中学部1年

中学部には55期生、37名が入学しました。入学式には、緊張していた生徒も日に日に表情がほぐれ、友だちと遊んだり、先生とコミュニケーションを取ったり、教室に安心できるスペースを見つけたたり…、思い思いの充実した日々を過ごす様子が見られるようになりました。

体育大会では、組体操とダンス、徒競走を力いっぱい頑張りました。初めての体育大会はドキドキとわくわくの連続でしたが、終わった後はみんなすがすがしい表情をしていました。

遠足は「バンドー神戸青少年科学館」へ。初めての校外での活動に、大好きなお弁当！みんなきらきらしていました。

3年間の中で、たくさんの楽しいことに出会い、新しいことにチャレンジし、また仲間と一緒に困難を乗り越えながら、心も体も大きく成長してほしいと思います。



高等部1年

高等部に、52期生として67名の新入生が入学しました。

入学当初は、新しい環境に緊張の面持ちでしたが、時間が経つにつれてその緊張もほぐれ、友だちや教師と楽しくコミュニケーションを取る姿が見られるようになってきました。

入学後、初の行事となった体育大会では、クラス対抗で「台風の目」やリレーに取り組み、当初の予定が悪天候による延期のハプニングにも負けずに、はつらつとした姿を見せてくれました。

高等部3年間の中で、卒業後の進路選択に向け、様々なことにチャレンジし、充実した学校生活を送ってくれることを願います。



分教室1年

9期生となる16名が入学して、早くも1学期が終わろうとしています。1学期には、大きな行事である武庫荘総合高等学校との交流行事「文化祭」や神戸方面を巡る宿泊学習を楽しむことができました。いずれの行事においても、分教室全体や学年という大きな集団での協力、チームワークの大切さを学び、成功につなげることができました。

また日々の授業においても、卒業後の社会自立、職業自立に向けた学びを積み重ねています。ビルメンテナンส์やものづくりに代表されるWorkの授業では働くための基礎体力やコミュニケーション、各教科の授業では卒業後の生活に大切な知識を中心に学んでいます。大きな行事の成功体験と、日々の学びを大切にしながら、更なる成長を期待したいと思います。



訪問学級より

今年度の訪問学級は、高等部1年生1名・2年生1名・3年生1名の計3名、今年から全員が高校生です。1年生は4月11日の入学式にスクーリングで参加することができました。いつもの様子と違う式典の雰囲気を感じたのか、表情が少し引き締まっていたように見えました。2年生・3年生はそれぞれの自宅で始業式を行いました。教頭先生の話やキーボードの音などをしっかりと聞いているように感じました。

ご家族と情報共有する中で、体調を整えながら、今までの経験や学習で積み重ねた力を発揮して、それぞれのペースで学習に取り組んでいます。交流学級を中心に、学校行事や映像、手紙などで本校の皆さんと交流できることを楽しみにしています。



進路指導部より

高等部3年生が6月12(月)～6月16(金)の5日間、高等部2年生が翌週の6月19(月)～6月23(金)の5日間、校外で現場実習をしました。保護者の皆様には、日々の体調管理や実習中の送迎、反省会への出席など、ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

現場実習とは、生徒が福祉施設や企業などの実習先へ行って、実際に現場の雰囲気を感じたり、仕事を体験したりすることです。

生徒にとっては初めての場所であり、初めて会う方々ばかりです。最初は緊張していても少しずつ慣れてきた生徒、元気よくあいさつができるようになった生徒、真剣な表情で集中して作業に取り組んでいる生徒、これまでよりも長い時間仕事を続けることができたようになった生徒など、いろいろな生徒に出会えました。

作業内容は事業所によって異なります。袋にシールを貼る作業、手芸制作、タオルたたみ、箱の組み立て、食品を作ったり盛り付けたり、清掃などいろいろありました。また、レクリエーション活動では、ヨガやウォーキングをしたり、飾り作りなどの制作活動をしたりしている事業所もありました。

現場実習は、卒業後の生活を体験できる機会、進路先を考える機会の一つです。しかし、実習だけでは卒業後の進路を決めるのは難しいです。実際に様々な事業所へ見学に行き、進路決定の参考にして欲しいと思います。

事業所に見学に行かれる際、次のことを見ていただけたらと思います。一つ目は、雰囲気です。にぎやかな雰囲気のある事業所もあれば、小集団で静かに作業している事業所もあります。二つ目は作業内容です。作業内容も様々で、作業を中心に行っている事業所もあれば、余暇活動を中心にレクリエーションを取り入れている事業所もあります。作業時間も事業所によって違います。三つ目は、送迎や給食の有無です。これからも、進路指導部から情報を発信できるように取り組んでまいりたいと思います。

